

2022 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ「環境体験教室」			
題名・副題	なぜ目は2つもあるの？ジオラマ(立体模型)を作って確かめよう			
月日・時間	2022年6月18日(土) 10:00~12:00			
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館 1階・会議室			
部会・講師名	自然環境部会 武澤研二	参加数	17名	講師数 5名
写真・画像				
	赤青メガネで絵が飛び出して見えた		輪の中のスカイツリーが逃げる	
				
	手に穴が開くマジックでびっくり		ジオラマを組み立てました	
成果解説	<p>この教室は、立体視や視野など2つの目の働きを自分の体を使った体感実験により実感し、(脊椎)動物が2つの目の働きで行動する、餌を探し、天敵から逃れること、そのような生きものつながりに気づくことが狙いです。</p> <p>最初に、動物と目の数を当てる簡単なクイズでヒトなど脊椎動物の目は2つであると確認しました。スカイツリーの絵を手を持った輪の中に入れ、片目を閉じると輪の中のスカイツリーが「逃げる」(絵がずれる)、赤青メガネをかけると赤青画(アナグリフ)が3D(立体的)に見えるなど左右視差やこれによる立体視を自分の体で行う体験実験で確かめました。手に持った輪がどこまで見えるか、自身の両眼と片眼の見える範囲「視野」を測る実験を行いました。両眼と片眼の視野の広さが捕食者と被食者で、動物の暮らし方で異なることも学びました。紙製のジオラマ(立体模型)を工作し両目と片目でジオラマを見る実験で、片目なら隠される物も両眼なら見える補完する働きを確かめました。その後、自由にパーツを貼ってオリジナルのジオラマを楽しく作りました。紙筒を片目に当て遠景を見つめて、もう一方の目を手の掌で覆うと「手に穴が開く」、自身で行うマジックで錯視(脳の錯覚)の不思議を体験しました。2つの目の働き、①距離が分る、②より広い視野を得る、③隠されたものが見える、ことを解説し、2つの目の働きから動物の暮らし方、生きものつながりを考えました。授業のアンケートではほとんどの受講児童から「楽しかった」との感想を得ました。</p>			